

「青少年地区委員会活動の事例調査」

1 調査目的

地域社会において、少子高齢化や核家族化が進み、青少年が日常的に地域の大人と触れ合う機会が減少している中、青少年の健全育成を図る上で、地区委員会の皆様には大変重要な役割を担っていただいている。

そこで、都内全地区委員会を対象に、活動状況や課題を伺い、今後の効果的な支援に繋げていくことと、当調査結果を情報提供し、今後の活動の参考としていただくことを目的として、調査を行った。

2 青少年地区委員会とは？

各地域における子供たちの育成活動の核となる組織

○57区市町村に、計717地区（おおむね中学校区ごとに設置）

○約4万5千人の委員が、健全育成に熱意と理解を持って活躍

○主な構成員：学校及び関係機関代表（PTA役員・教職員）、地域の代表（町会・自治会）、民生・児童委員、保護司、スポーツ推進委員 など

3 調査の概要

1 調査内容

①活動状況

予算、構成人数、活動内容、協働・連携団体、抱える課題、活動の助けになるもの、ダイバーシティ(多文化、障がい者、高齢者の理解など多様性の尊重・受容)の意識について など

②活動事例

→報告書には、委員会で抱える人的な面での課題や、新たな取組を行う上で参考になる取組を掲載

2 調査方法

都内57区市町村を經由して、各地区委員会に調査票を郵送、回収

3 調査対象

都内全地区委員会:717(平成29年4月1日現在)

4 調査の監修及び調査結果の分析

文京学院大学 人間学部 コミュニケーション社会学科 助教
古市 太郎 先生

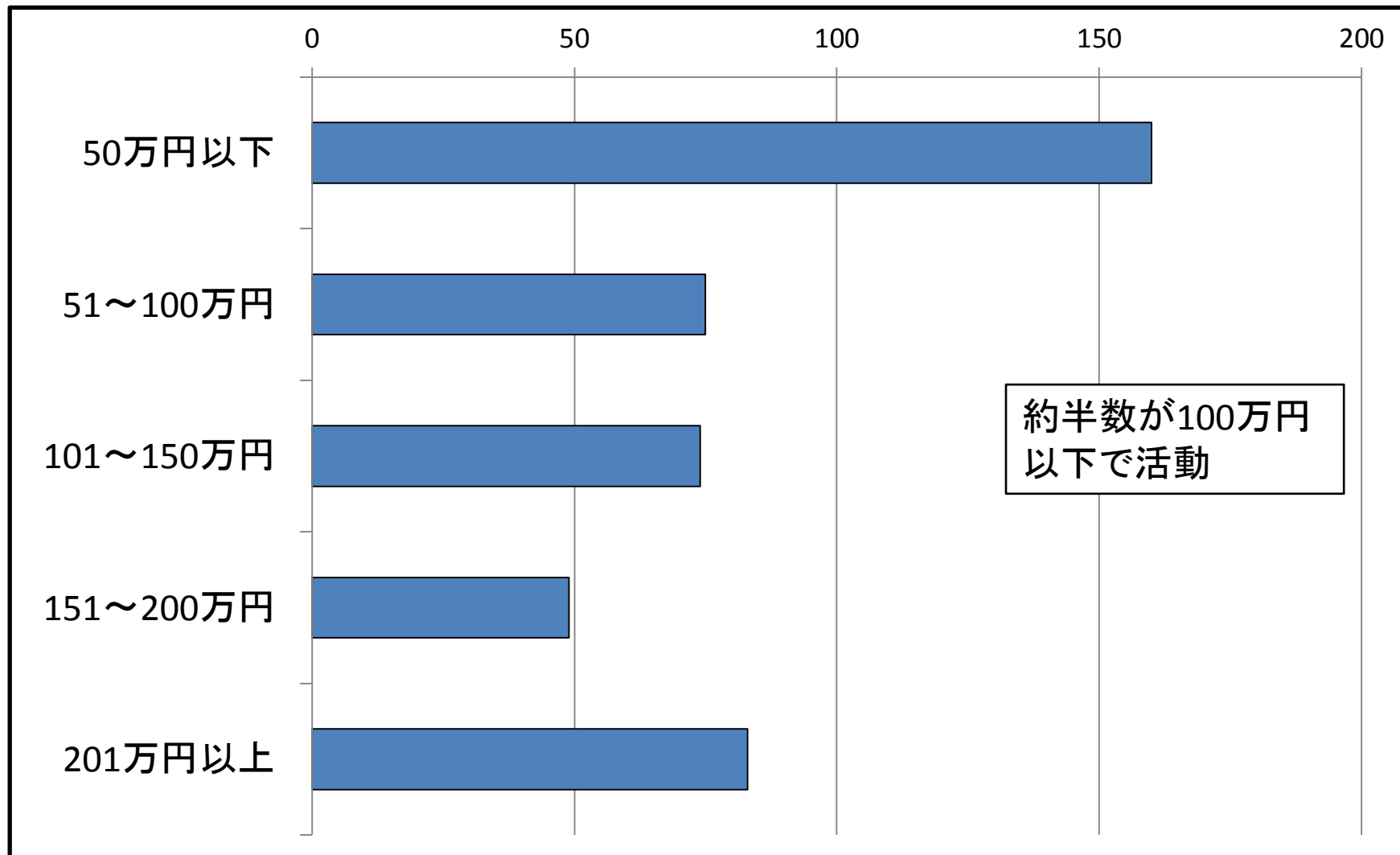
5 調査票回収率

62%(449地区委員会から回答)

4 主な調査結果

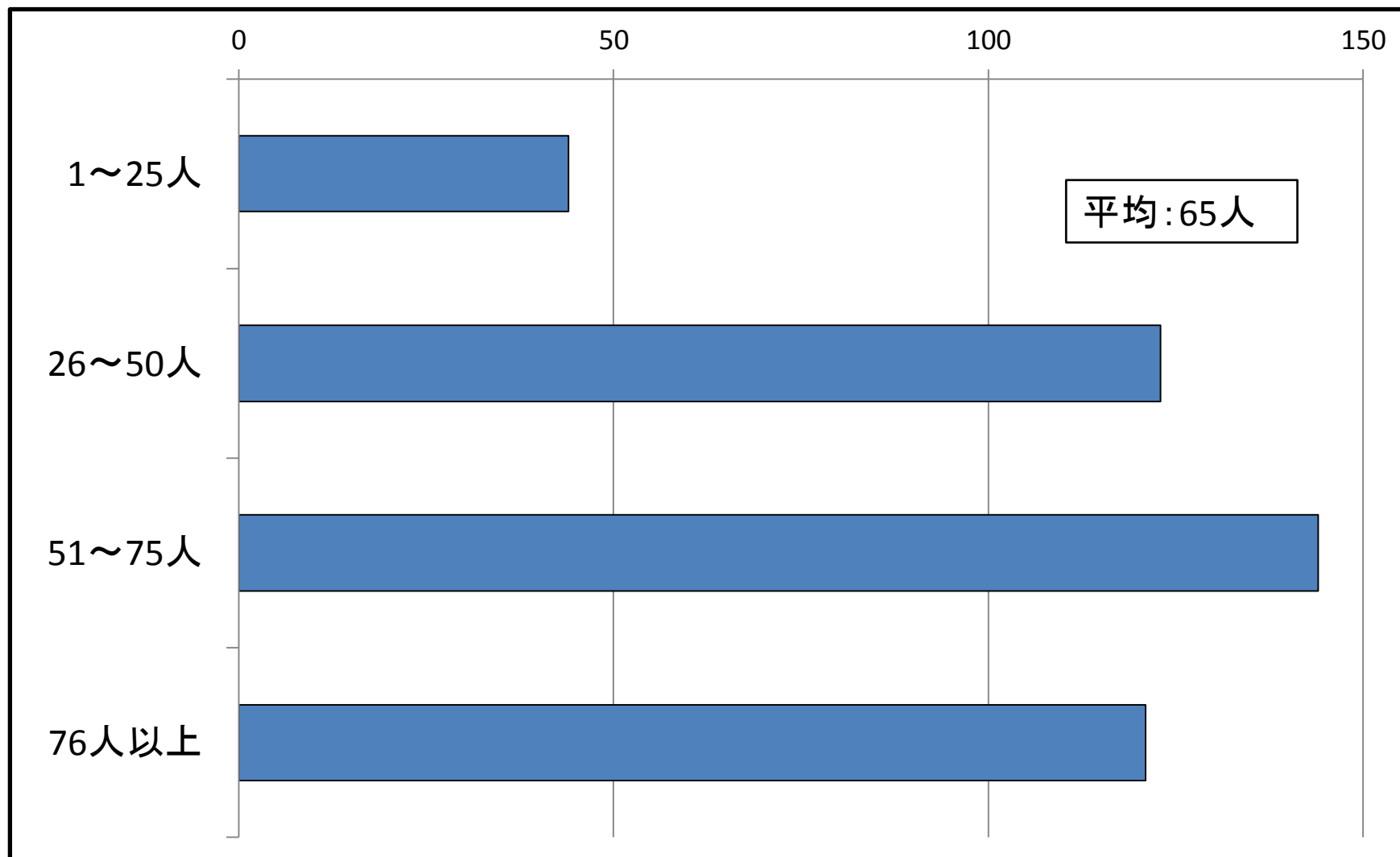
※有効回答件数:449件

地区委員会の年間予算額 ※報告書P.7



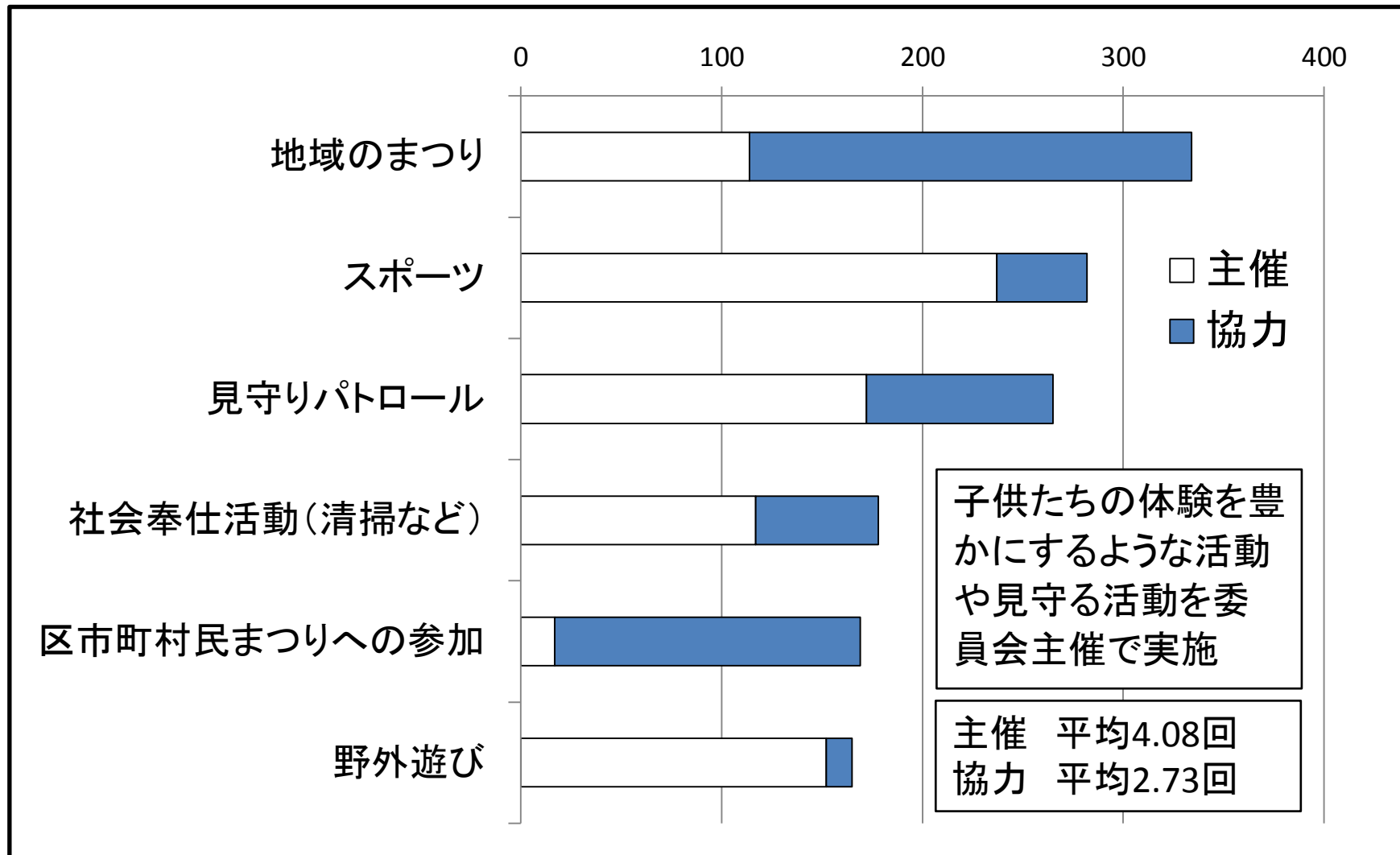
4 主な調査結果

地区委員会の構成人数 ※報告書P.13



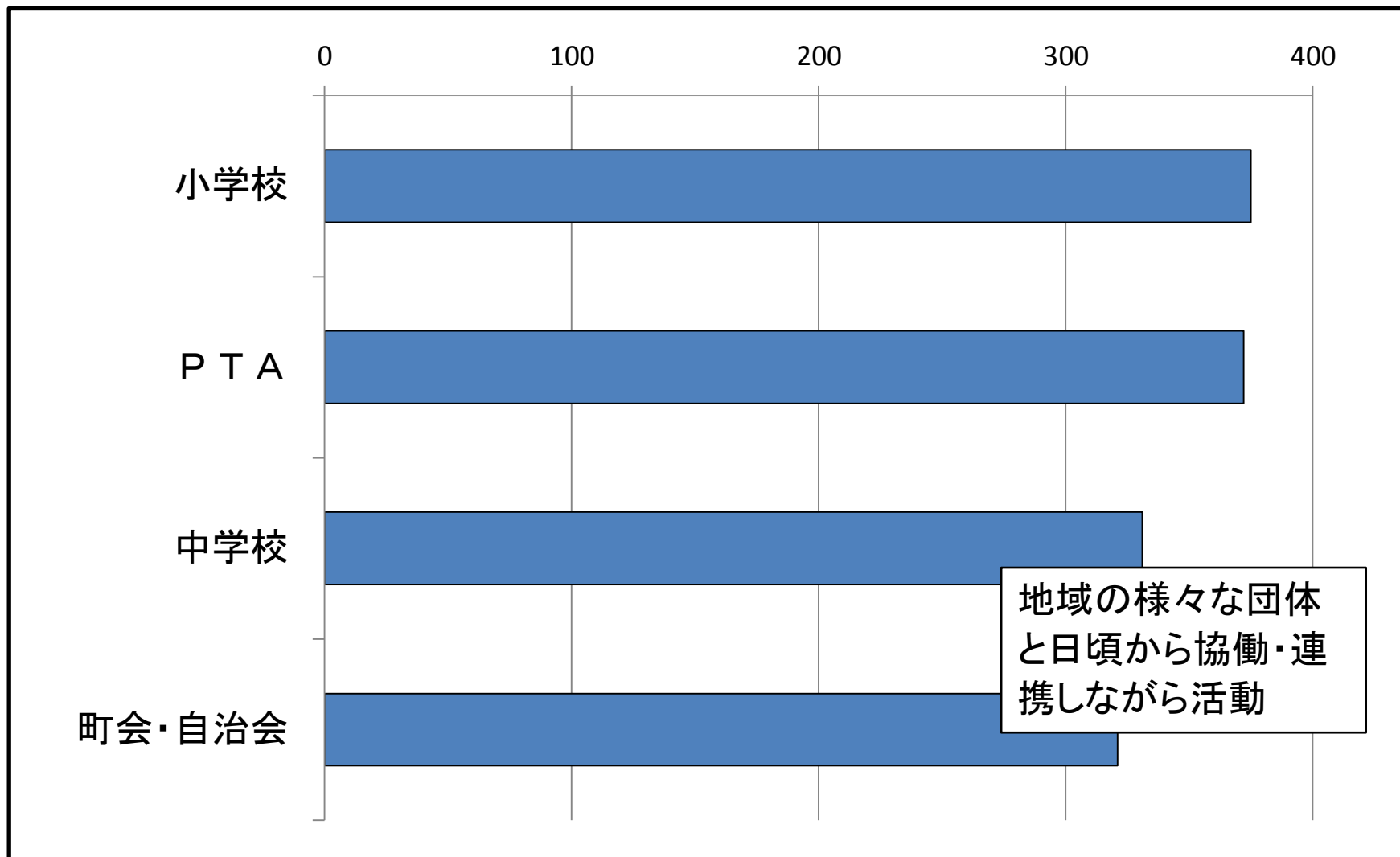
4 主な調査結果

地区委員会の活動内容(複数回答・上位6件) ※報告書P.16



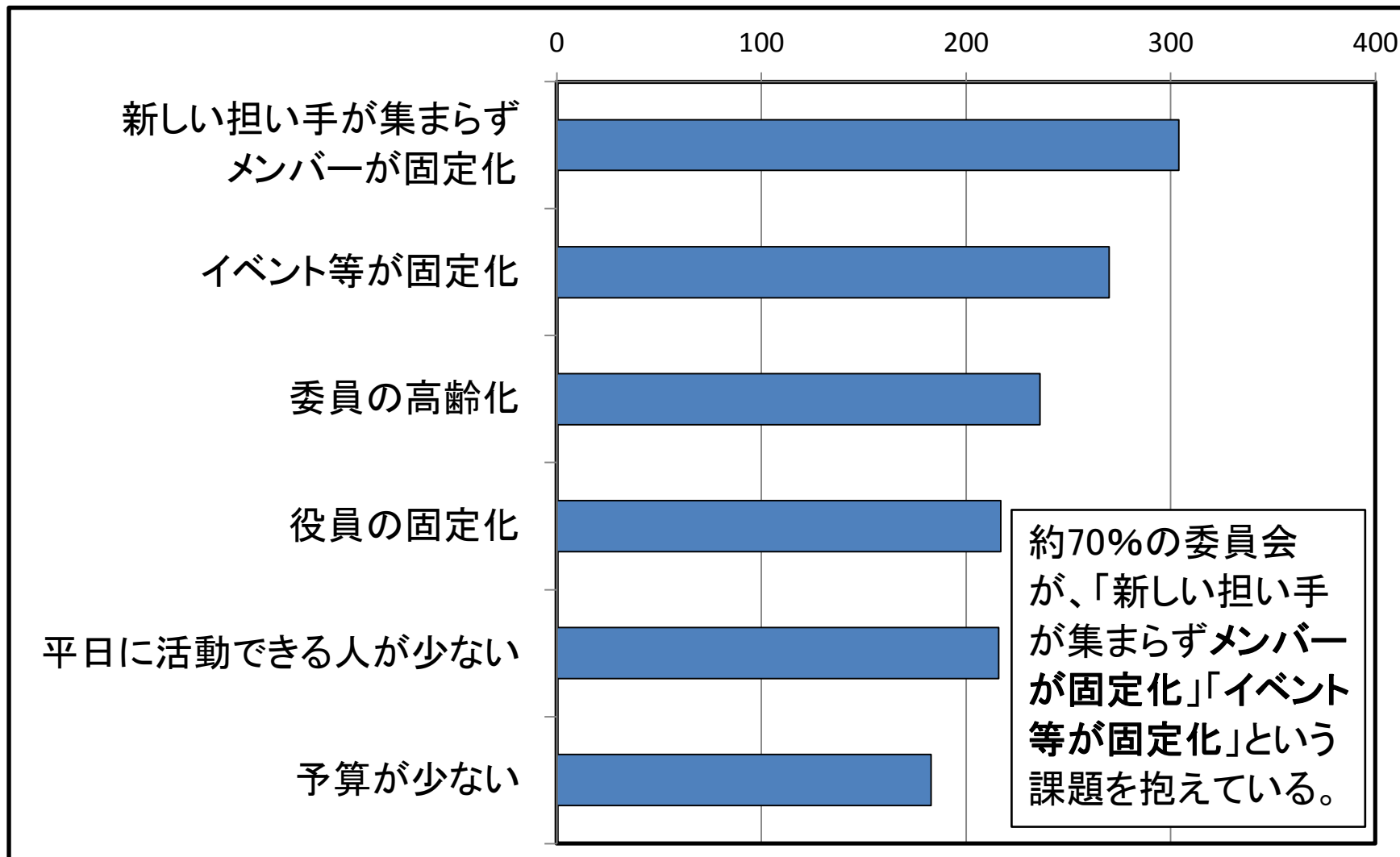
4 主な調査結果

日頃、協働・連携して活動を行っている団体（複数回答・上位4件） ※報告書P.23



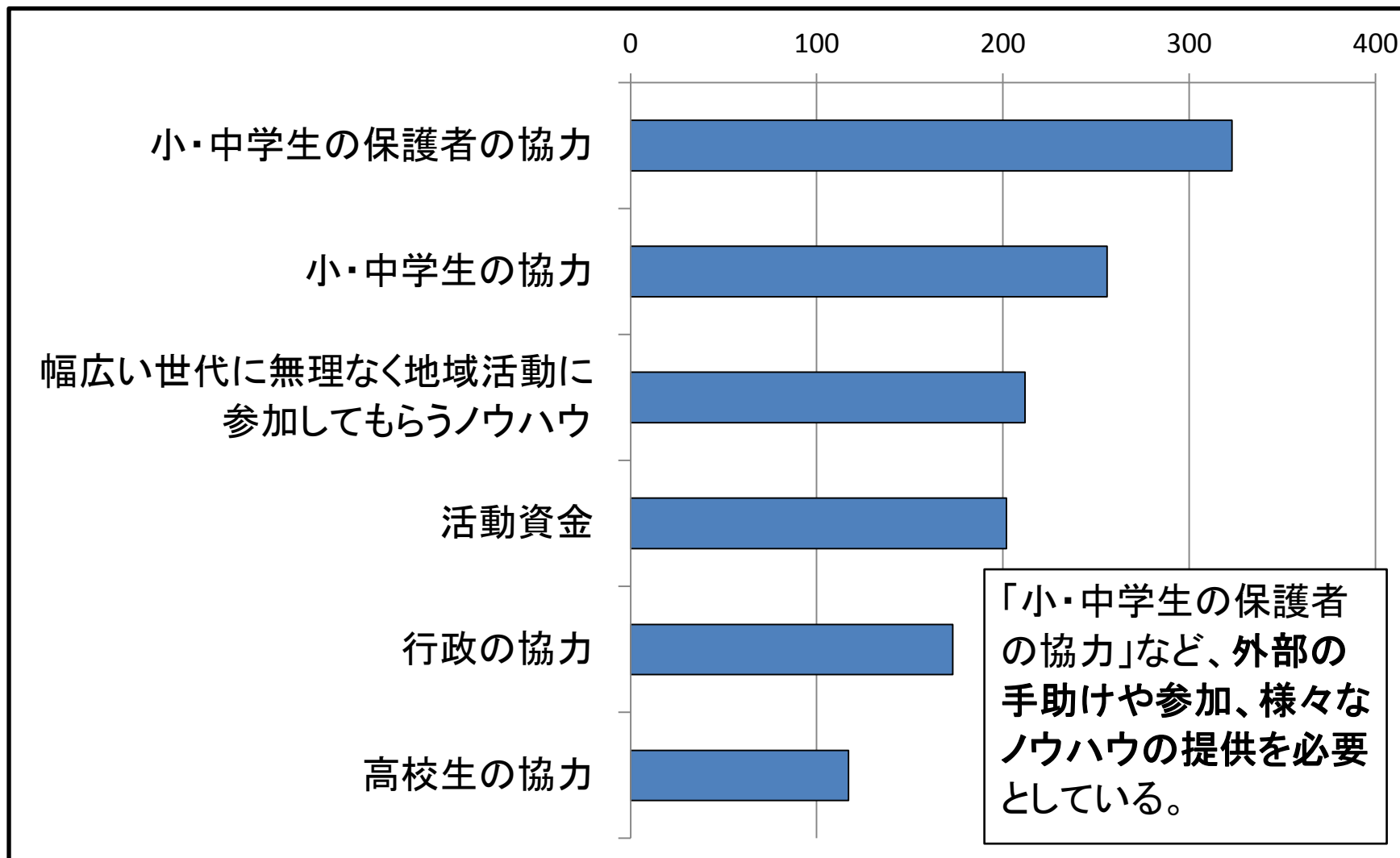
4 主な調査結果

抱える課題(複数回答・上位6件) ※報告書P.26



4 主な調査結果

今後、活動の助けになるもの(複数回答・上位6件) ※報告書P.32



5 主な事例

★ 「上柚木夏祭り」(八王子市 青少年対策上柚木地区委員会) ※報告書P.68

1 取組概要

【実施時期】:8月

【参加者数】:大人2,000人程度、子供1,500人程度

【内容】:やぐらを組み、踊りや出店を楽しむ夏祭りを実施

2 目的と効果

【目的】

子供達が協力することの大切さを体験、地域に住む大人が地域との接点を持つこと

【効果】

- ・子供達は、大人と一緒に作業を行い、貴重な経験の場となっている。
- ・大人同士のふれあいの場にもなっている。

3 工夫している点

- ・中学生が出店する模擬店の利益をユニセフへ寄附
- ・PTA、中学校、町会・自治会、父母の会等、多くの団体の協力

5 主な事例

★ 「柴又地区フェスティバル」(葛飾区 青少年育成柴又地区委員会) ※報告書P.76

1 取組概要

【実施時期】: 1月(学校が休みの土曜日)

【参加者数】: 大人100人程度、子供390人程度

【内容】: 大縄跳び、キックターゲット等のスポーツと郷土カルタ予選会の実施

2 目的と効果

【目的】

スポーツを通じて子供達の学校間交流を図ること

【効果】

- ・スポーツや、スポーツ後の餅つき等を通し、子供と大人の交流が図られている。
- ・大人同士の交流を深めることもできた。

3 工夫している点

- ・小学校1年生から大人まで幅広い年齢層の参加
- ・委員会、PTA、学校のつながりの強さを活かした、何校も巻き込んでのイベント

5 主な事例

★ 「大田スポGOMI大会」(大田区 青少年対策羽田地区委員会) ※報告書P.85

1 取組概要

【実施時期】:2月

【参加者数】:大人370人程度、子供70人程度

【内容】:制限時間内に拾ったごみの質と量で競う大会

2 目的と効果

【目的】

環境に対する意識の向上、異世代間交流と顔の見えるコミュニケーションづくり

【効果】

- ・環境奉仕活動を「楽しいもの」と思うことにつながっている。
- ・大会を通して、約150kgのごみが集まった。

3 工夫している点

- ・企業やNPO法人の実行委員会への参画、高校生の審判ボランティア等の協力
- ・学校等だけでなく、企業や障がい者施設等へもちらしを配布

6 まとめ

調査から見えるあるひとつの地区委員会のすがた ※報告書P.62

予算	「26～50万円以下」
収入	「補助金・公費・委託費」
構成人数	「51～75人」
委員の役職	「地域の小・中学校のPTA役員」、「町会、自治会代表」、「児童委員（民生委員）」
協働・連携団体	「小学校」、「PTA」、「中学校」、「町会・自治会」
主な活動内容	主催では「スポーツ」、「見守りパトロール」、協力では「地域のまつり」
現状の課題	「新しい担い手が集まらずメンバーが固定化」、「委員の高齢化」、「役員の固定化」、「平日に活動できる人が少ない」。人的な面以外の喫緊の課題は、「イベント等が固定化」、「予算が少ない」、「備品を活動場所等に運搬するのが大変」。